

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 直樹
 (氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,956	△5.2	582	54.0	281	△33.7	140	△46.5
24年3月期第1四半期	7,334	11.6	378	△16.3	424	△17.6	261	△14.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △75百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 263百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	13.78	—
24年3月期第1四半期	25.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	45,626	37,469	81.7
24年3月期	46,140	38,054	82.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 37,264百万円 24年3月期 37,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,600	3.7	940	41.9	1,050	96.8	550	330.0	54.04
通期	29,300	8.4	1,900	43.9	2,150	34.0	1,150	83.6	112.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	11,281,629 株	24年3月期	11,281,629 株
25年3月期1Q	1,104,233 株	24年3月期	1,104,233 株
25年3月期1Q	10,177,396 株	24年3月期1Q	10,178,254 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響から徐々に落ち着きを取り戻しましたが、原発事故による電力の供給不安や円高、資源価格の上昇など、先行きは不透明感が拭えない状況であります。また、欧州の信用不安、中東情勢の緊迫化で世界経済は不透明感を増しており、内需拡大を続けていた中国をはじめとする新興国にもその影響が見られ、世界経済は緩やかな減速が見受けられます。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、長引く円高で海外生産が拡大するなど、その影響を受けております。一方海外の繊維産業向けでは、深刻化する欧州の債務問題で中国の景気が減退し、アジア地域やその他の地域に影響が波及しております。

非繊維分野におきましては、国内の自動車生産は震災の影響から順調に回復し、堅調に推移しております。住宅関連は補修用材料の販売が好調に推移しております。一方海外では、米国、欧州の経済不況の影響を受け、中国をはじめとするアジア諸国も景気が低迷しております。また、円高も続いており、引き続き製品価格の適正化を図っております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高6,956百万円（対前年同四半期比94.8%）、営業利益582百万円（対前年同四半期比154.0%）、経常利益281百万円（対前年同四半期比66.3%）、四半期純利益140百万円（対前年同四半期比53.5%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は6,790百万円（対前年同四半期比94.8%）、セグメント利益（営業利益）は524百万円（対前年同四半期比143.1%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社への販売は比較的安定した実績となりました。海外への販売におきましては、中国合繊メーカー各社での生産調整による減産が継続、販売数量が低迷し、外部顧客に対する売上高は748百万円（対前年同四半期比95.3%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化によりテキスタイル分野の加工量が減少しましたが、炭素繊維は航空機、産業資材向けを中心に回復基調で推移しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では工業用繊維分野、衣料用分野、弾性繊維分野、高機能繊維分野ともに販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は4,021百万円（対前年同四半期比94.9%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、縮小傾向であった繊維全般の加工が底を打ち、関連加工剤の販売は昨年実績を上回りました。化学工業分野では高騰する原料価格への対応として製品価格の修正に取り組んでおり、また、洗浄剤原料の販売も回復し、外部顧客に対する売上高は264百万円（対前年同四半期比111.5%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売は在庫過多による生産調整で減少しました。非繊維関連では、化粧品原料は堅調に推移しております。建材関係では住宅着工件数の低迷が続いておりますが、補修用途の拡大で有機高分子製品の出荷が回復傾向となりました。一方、タイの洪水による自動車産業への影響により、ゴム成形品加工剤の販売が低調でありました。その結果、外部顧客に対する売上高は1,756百万円（対前年同四半期比92.1%）となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は165百万円（対前年同四半期比98.7%）、セグメント利益（営業利益）は16百万円（対前年同四半期比108.1%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、小口の新規顧客獲得がありましたが、販売数量、金額とも前年を下回り、外部顧客に対する売上高は1百万円（対前年同四半期比77.3%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、合織の紡糸・コーニングオイル油剤は好調で、製品価格の修正も寄与しましたが、スパン用、フィラメント用平滑剤は既存ユーザーの使用量の低下で販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は74百万円（対前年同四半期比96.4%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は1百万円（対前年同四半期比103.1%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、インドネシア国内のフィラメント織物は撚糸物が増加し、既存ユーザーの糊剤の使用量が減少しておりますが、新規ユーザーの開拓と新商品の拡販により前年並みの販売実績を維持しております。また自動車、オートバイ用のタイヤ離型剤は、タイの洪水の影響は解消されつつありますが、生産調整により販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は88百万円（対前年同四半期比101.0%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比513百万円（1.1%）減少して、45,626百万円となりました。流動資産は前期末比277百万円（0.8%）増加の32,990百万円、固定資産は前期末比790百万円（5.9%）減少の12,636百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、有価証券が164百万円前期末より減少したものの、受取手形及び売掛金が263百万円、その他が212百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、投資有価証券が806百万円前期末より減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比71百万円（0.9%）増加の8,157百万円となりました。流動負債は、前期末比73百万円（1.0%）増加の7,721百万円、固定負債は前期末比1百万円（0.5%）減少の436百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、未払法人税等が247百万円、賞与引当金が218百万円前期末よりそれぞれ減少したものの、買掛金が377百万円、その他が161百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比585百万円（1.5%）減少して37,469百万円となりました。

純資産減少の主な要因は、利益剰余金が368百万円、その他有価証券評価差額金が248百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の82.1%から81.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績が概ね当初予定通り推移したことから、現時点におきましては平成24年5月11日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,447	17,467
受取手形及び売掛金	7,836	8,099
有価証券	2,494	2,329
商品及び製品	1,760	1,772
仕掛品	442	466
原材料及び貯蔵品	1,115	1,112
繰延税金資産	512	425
その他	1,108	1,321
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	32,713	32,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,319	6,358
減価償却累計額	△3,941	△4,004
建物及び構築物(純額)	2,378	2,354
機械装置及び運搬具	9,855	9,855
減価償却累計額	△8,209	△8,279
機械装置及び運搬具(純額)	1,645	1,576
土地	529	530
建設仮勘定	79	106
その他	1,491	1,489
減価償却累計額	△1,363	△1,367
その他(純額)	128	122
有形固定資産合計	4,761	4,689
無形固定資産		
その他	12	13
無形固定資産合計	12	13
投資その他の資産		
投資有価証券	7,679	6,873
長期貸付金	173	143
繰延税金資産	236	352
その他	568	568
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	8,652	7,933
固定資産合計	13,426	12,636
資産合計	46,140	45,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,545	5,923
短期借入金	700	700
未払法人税等	267	19
賞与引当金	268	49
その他	866	1,027
流動負債合計	7,647	7,721
固定負債		
退職給付引当金	251	247
資産除去債務	94	95
その他	91	93
固定負債合計	438	436
負債合計	8,085	8,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	27,684	27,316
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	38,546	38,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△447	△695
為替換算調整勘定	△217	△217
その他の包括利益累計額合計	△664	△913
少数株主持分	173	204
純資産合計	38,054	37,469
負債純資産合計	46,140	45,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,334	6,956
売上原価	5,970	5,420
売上総利益	1,363	1,535
販売費及び一般管理費	985	952
営業利益	378	582
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	23	22
持分法による投資利益	17	11
その他	31	34
営業外収益合計	77	74
営業外費用		
支払利息	1	1
投資事業組合運用損	—	316
為替差損	28	54
その他	2	3
営業外費用合計	32	376
経常利益	424	281
特別利益		
関係会社株式売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	2	8
特別損失合計	2	8
税金等調整前四半期純利益	422	285
法人税、住民税及び事業税	56	11
法人税等調整額	99	110
法人税等合計	156	122
少数株主損益調整前四半期純利益	266	163
少数株主利益	4	22
四半期純利益	261	140

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266	163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△247
為替換算調整勘定	13	16
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△8
その他の包括利益合計	△2	△238
四半期包括利益	263	△75
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252	△107
少数株主に係る四半期包括利益	10	31

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	7,166	167	7,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74	11	86
計	7,241	179	7,420
セグメント利益	366	14	381

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	381
セグメント間取引消去	△1
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	378

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	6,790	165	6,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78	10	88
計	6,868	175	7,044
セグメント利益	524	16	541

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	541
セグメント間取引消去	32
棚卸資産の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	582

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。